

セレナイトシスチンブイオン (SC-T)

Selenite Cystine broth (SC-T)

食品検体中の *Salmonella* 検出における選択増菌用

For microbiological control only

42052 試験管培地 20 本(10ml)

貯蔵法

2-8°C

組成(g/l)

カゼインペプトン (牛)	5
乳糖 (牛)	4
リン酸二ナトリウム	10
亜セレン酸ナトリウム	4
シスチン	0.01
pH7.0	

注意: 本製品は亜セレン酸ナトリウムを 0.4% 含有しており、環境に有害です。

R52-53 水生生物に有害です。長期にわたり水界に有害な影響を与える恐れがあります。

R33 蓄積性があるので危険です。

S28 皮膚に触れた際は、直ちに流水で洗って下さい。

S29 下水に流さないで下さい。

原理

セレナイトシスチンブイオンは食品検体中の *Salmonella* の検出に使用する選択増菌培地です。本培地は Leifson のセレナイト培地を改良した培地です。

通常、ラバポートバシリアディス (RV) ブイオンと併用します。

本培地はいくつかの標準法や USP に記載されています。

ペプトンを基礎としており、これにより *Salmonella* の増殖が促進されます。

シスチンは *Salmonella* に対する亜セレン酸の毒性を中和し、*Salmonella* の回復を助けます。

検体の採取法

最新の標準法に従って下さい。

使用法

従来方法:

1. 培地を室温に戻します。
2. ペプトン緩衝液で $37 \pm 1^\circ\text{C}$ で 18 ± 2 時間前増菌した後、その 1ml を本培地 10ml 入りの試験管に接種します。
3. $37 \pm 1^\circ\text{C}$ で 18-24 時間培養します。

注意: 本培地は RV ブイオンと併用して下さい。

判定

- 本培地培養後の分離は、通常 XLD 寒天培地、BGM 寒天培地または他の選択寒天培地 (SM ID2、ヘクトエンエンテリック寒天培地など) で行います。
- 分離培地の添付文書をご参照下さい。

使用上の注意

- 無菌操作および細菌を扱う上で必要な注意事項に留意して下さい。
- 検体、培養物などは全て感染の可能性があるものとして取り扱いには充分ご注意下さい。安全ガイドライン: “NCCLS M-29A, Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline – Current revision” 操作留意事項” Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH – Latest edition” または各国の最新のガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。
- ご使用前に、キャップに破損がないことをご確認下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従ってご使用下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

留意事項

- 様々なサンプルを用いて検討していますが、用途に応じて本培地を評価されることをお勧めします。

参考文献

1. CORRY J.E.L. et al. - Chapter 13 : Media for the isolation of *Salmonella*. p 195-208 - Rappaport-Vassiliadis (RVS) broth p. 574-576 – Handbook of Culture Media for Food Microbiology, Elsevier Science B.V., Vol. 37, 2003.
2. LEIFSON E. – New selective enrichment media for the isolation of typhoid and paratyphoid (*Salmonella*) bacilli. – *Journal of Hygiene*, 1936, vol. 24, p. 423-432.
3. Microbiologie des aliments. - Recherche des *Salmonella*. Méthode de routine. - NF V 08-052 - Mai 97 – AFNOR – ISSN 0335-3931.
4. USP XXVII.

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床 (病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業 (企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・バイオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666 (代表)



シスメックス・バイオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目 2 番 2 号
大崎セントラルタワー 8 階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 0 4 78 87 20 00 / Fax (33) 0 4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.